

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	しまねブランド推進課	氏名	今田淳次
派遣先 団体名	NPOしまね歴史文化ネットワークもくもく		

① 研修の日時

10月12日(土)13:00～14日(月)16:00

② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

12日 大田市あすてらすに集合しスタッフの打ち合わせを行い、参加者とともに大田市大森町に移動し町並み散策後、夕食・開校式で期間中のスケジュールを確認。

13日 世界遺産センターで石見銀山に関する概要説明を受けた後、大久保間歩ツアー更に釜屋間歩・仙ノ山まで歩き、昼食後選鉱場・清水谷精錬所などを見学。



大田市静間町に移動し、藻塩づくり体験・静之窟探訪。大田市の郷土食「へか焼き」と藻塩を使ったおにぎりで夕食。

14日 世界遺産センターで「世界遺産からのメッセージ～京都ヴィジョンと石見銀山～」と題し、目黒正武氏(NPO法人世界遺産アカデミー主任研究員・青山学院大学非常勤講師)の公開講座を聴講

出雲に移動。稲佐の浜付近でバスを降り、稲佐の浜～神迎え道～古代出雲歴史博物館見学後、出雲大社に参拝。簡単な解散式後、JR出雲市駅に移動。各自帰路につく。

### ③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

ほぼ全ての行程を全員一緒に行動を取ることが多かったため、事務的用務は少なかったが、大森町並み散策では数名のグループで行動したため、町並みや歴史的な事柄などについて一般参加者と一緒に散策しながら時々説明する必要があった。また、出雲大社周辺では急遽稲佐の浜に関する古事記の記述や神迎祭の説明を求められたため、国譲り神話などの説明を行った。

大久保間歩ツアーをはじめとした散策、静間町での藻塩づくり体験や郷土料理の堪能など実体験を通じた地域の歴史・文化的背景の理解は単なる座学では得られない知識として理解度が高まるため優れた取り組みである。

公開講座では、世界遺産(文化遺産、自然遺産、複合遺産)、無形文化遺産を含めた変遷を説明いただき、普段“世界遺産”という言葉だけを使用しているがその背景を詳しく理解できたことは有意義であった。

石見銀山三日籠りは、以前は大学の夏期合宿などで参加者が多い時期もあったが、近年の参加者は4、5名くらいに落ち着いているとのことである。スタッフの人数から言えばあまり多いと対応が難しいこともあるようだが、世界に誇るべき石見銀山の理解を深めるためにも多くの参加者がいることが望ましい。

#### 【協働】

知っているようであまり知らなかったりする地域の歴史文化に触れる良い機会である。県教育委員会世界遺産室、地元大田市などと連携し、地元の人にも積極的に声を掛ける。

有り難いことに他県から毎年参加される方も複数いる。行政や地域住民と連携した新しい企画なども取り入れると新鮮さがあって良いのではないかな。

今回参加された方は非常に満足して帰路に着かれたため、来年度も再び参加されることを期待している。

### ④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

時間があまりない中での研修になるため難しいのかもしれないが、計画策定段階から参加できるともっと身近なものとなり、企画力や調整能力の育成にもなるのではないかな。

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)研修終了後、報告会を開催します。